

# 令和6年度児童福祉施設給食関係者研修会(R6.07.02) 受講後アンケート結果

## ■ 研修会実施目標

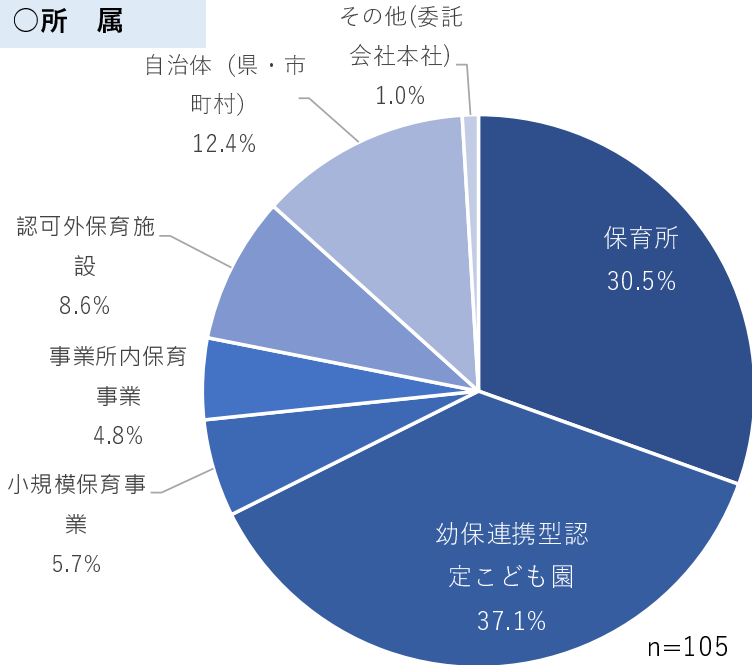
- ①保育従事者がこどもの発育・発達を考慮した保育中の食事支援について必要な知識・技術を習得することができる。
- ②保育従事者が自施設におけるこどもの発育・発達を考慮した具体的な食支援について検討し、実践につなげることができる。
- ③保育従事者が自施設に通うこどもの養育者からの食に関する相談に対して、こどもの発育・発達を考慮した具体的な食支援につなげることができる。
- ④保育従事者が食品衛生や日本人の食事摂取基準を用いた食事計画などに基づいた食事提供・支援をすることができる。

## ■ 出席者数、アンケート回収率

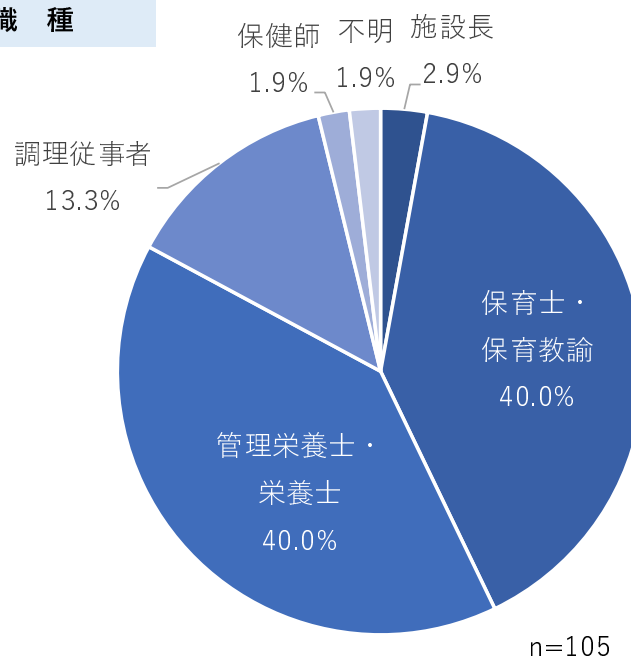
○出席者数：148名    ○アンケート回収数 105    ○アンケート回収率 70.9%

## ■ 回答者の属性

### ○所 属



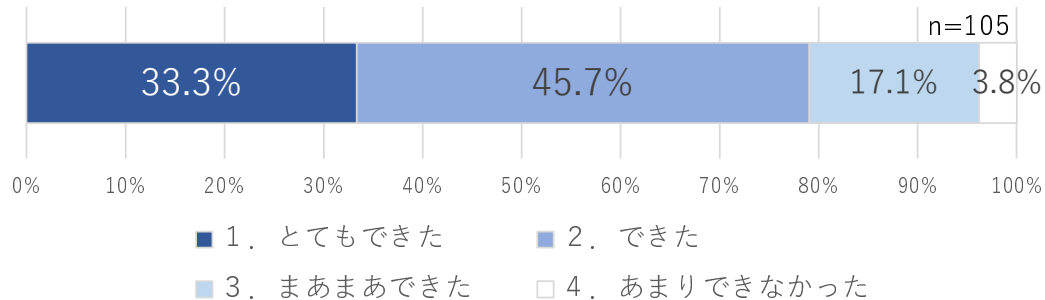
### ○職 種



・回答者の属性（所属別）では幼保連携型認定こども園、保育所の参加割合が多かった。

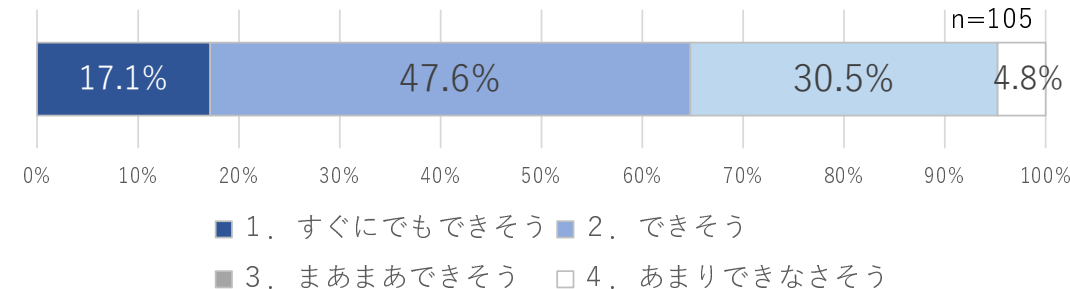
・回答者の属性（職種別）では、保育士・保育教諭と管理栄養士・栄養士がそれぞれ40/0%と多く、調理従事者の割合は13.3%であった。

■講師講演・グループワークを通じてこどもの発育・発達を考慮した保育中の食支援について必要な知識・技術を獲得することができましたか。



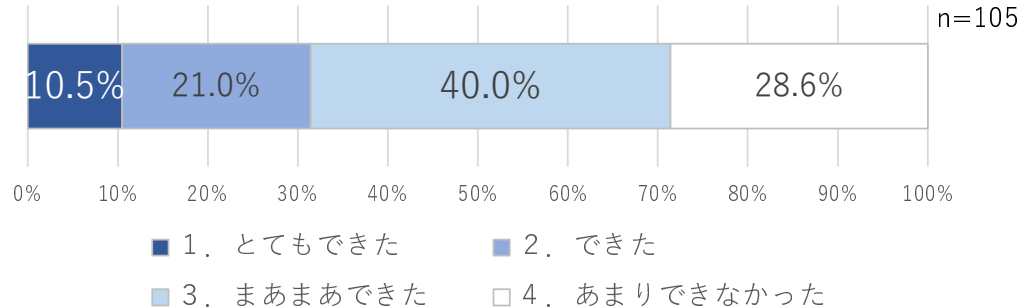
回答者の94.2%が、こどもの発育・発達を考慮した保育中の食事支援について必要な知識・技術を獲得することが「とてもできた」「できた」「まあまあできた」と回答。

■貴施設に通うこどもの保育中の食課題について、「乳幼児食事相談の主訴別支援策チャート」（奈良県栄養士会）を活用した食支援をすることができそうかですか。



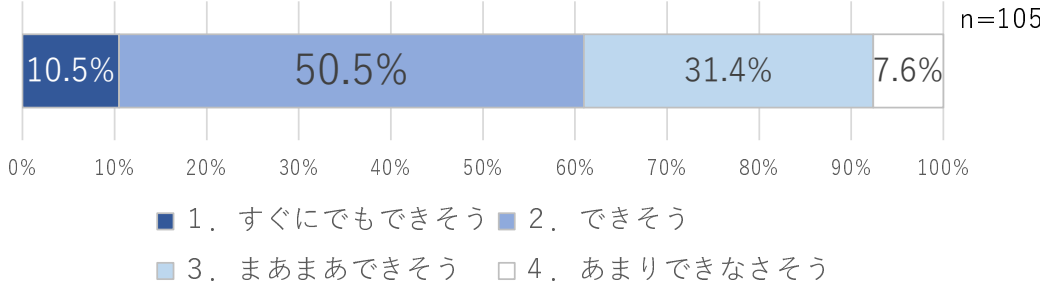
回答者の95.2%が、施設に通うこどもの保育中の食課題について、「乳幼児食事相談の主訴別支援策チャート」を活用した食支援をすることが「すぐにでもできる」「できる」「まあまあできる」と回答。

■グループワークを通じてこどもの発育・発達を考慮した具体的な食支援について検討し、実践につなげることができましたか。



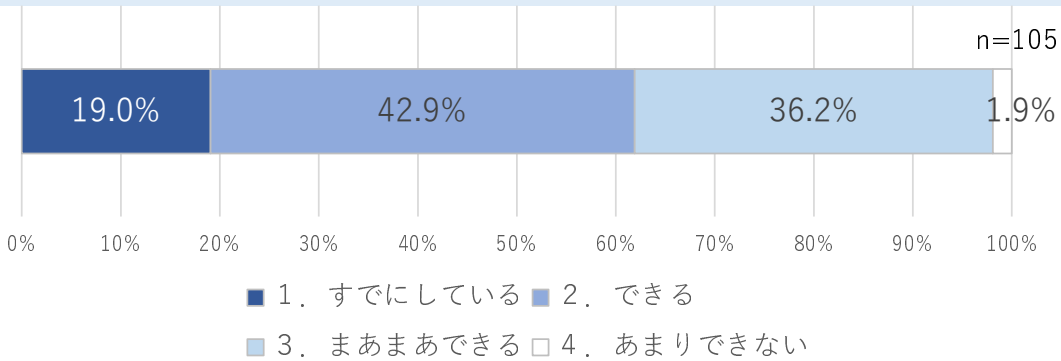
回答者の71.4%が、こどもの発育・発達を考慮した具体的な食支援について検討し、実践につなげることが「とてもできた」「できた」「まあまあできた」と回答。

■貴施設に通うこどもの養育者からの食に関する相談に対して、「乳幼児食事相談の主訴別支援策チャート」を活用し、こどもの発育・発達を考慮した具体的な食支援につなげることができそうですか。



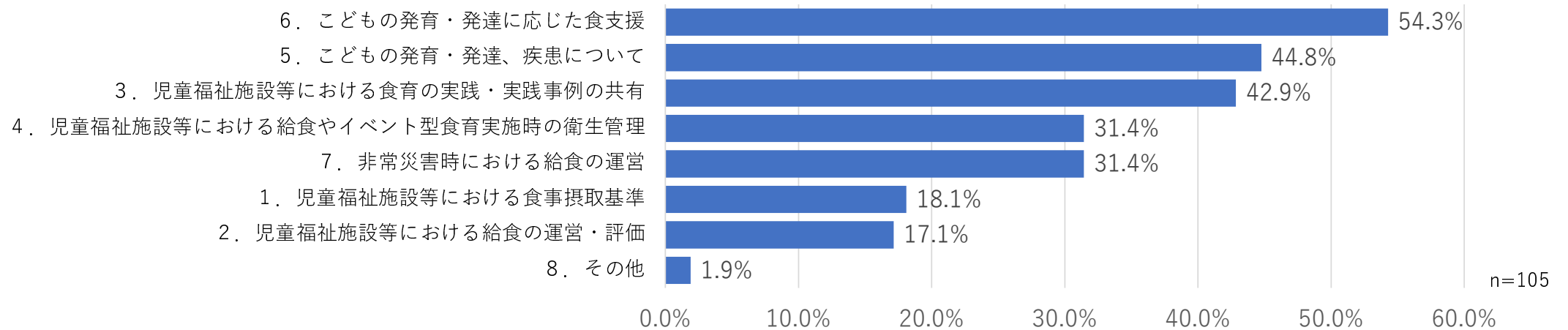
回答者の92.4%が、施設に通うこどもの養育者からの食に関する相談に対して「乳幼児食事相談の主訴別支援策チャート」を活用した食支援をすることが「すぐにでもできる」「できる」「まあまあできる」と回答。

■食品衛生や日本人の食事摂取基準を用いた食事計画などに基づいた食事提供・支援をすることができますか。



回答者の98.1%が、食品衛生や日本人の食事摂取基準を用いた食事計画などに基づいた食事提供・支援を「すでにしている」「できる」「まあまあできる」と回答。

■今後、県が主催する児童福祉施設給食関係者研修会で希望するテーマ（複数回答）



県が主催する児童福祉施設給食関係者研修会で希望するテーマとして「こどもの発育・発達に応じた食支援」「こどもの発育・発達・疾患について」「児童福祉施設等における食育の実践・実践事例」の共有の順に多かった。